



ロタウイルスワクチンが 定期接種になりました

感染症発生動向速報

(令和2年第41週分・10月5日～10月11日)

《インフォメーション》

●ロタウイルスワクチン

令和2年10月1日から、ロタウイルス感染症の予防接種が任意接種から定期接種になりました。ロタウイルスは、乳幼児におけるウイルス性急性胃腸炎の主要な原因と考えられています。感染力が非常に強く、5歳までにほぼ全ての子どもが感染すると考えられています。通常2～4日の潜伏期間を経て、下痢、嘔吐、発熱などの症状を引き起こします。他のウイルス性胃腸炎と比較して重い脱水症状を呈することが多いです。合併症として、発症から1～6日後にけいれんを認めることがあります。他にも腎不全、肝機能障害、脳炎・脳症などが起こることがあります。重症例は生後6ヶ月～2歳までの初感染時に多いとされています。乳幼児にロタウイルスワクチン（弱毒生ワクチン）を飲ませて接種することにより、ロタウイルス胃腸炎による入院患者を約70～90%減少させることができます。

ワクチン接種の対象は、令和2年8月1日以降に生まれた0歳児です。初回接種は出生14週6日（104日目）までに受けましょう。初回以降の接種回数は使用するワクチンの種類（現在2種類販売）により異なります（上図）。接種後の副反応としては、1～2週間は腸重積症（腸の一部が腸内にはまり込む状態）のリスクが通常よりも高まるとされています。乳幼児が不機嫌、泣き方がひどい、また嘔吐やイチゴゼリー状の粘血便が見られたら速やかに医療機関を受診するようにしてください。腸重積症は、ロタウイルスワクチンの接種にかかわらず、乳幼児がしばしばかかる疾患です。

予防接種に関するご相談は、居住地の市町村、かかりつけの医療機関にお問い合わせください。詳しい内容については、ロタウイルスワクチンに関するQ&A（厚生労働省）をご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/index_00001.html

《全数報告の感染症》

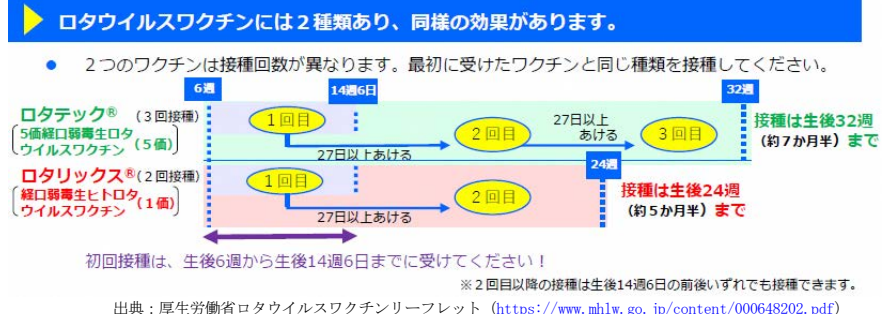
二類感染症 結核 4件 (①30歳代、女性 ②40歳代、男性 ③④ともに70歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	1.83 (↓)	1.86
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.79 (↓)	1.07
3位	突発性発しん	0.34 (↓)	0.66
4位	マイコプラズマ肺炎	0.20 (↑)	0.00
5位	咽頭結膜熱	0.14 (↓)	0.28
6位	ヘルパンギーナ	0.10 (↓)	0.14

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

令和2年10月14日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)



○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第41週 令和2年10月5日～令和2年10月11日）

分類	疾患	今週報告分（第41週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症							46	13	38	10	315	422
二類感染症	結核	2				2	4	15	4	29	8	30	86
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									9		15	24
四類感染症	E型肝炎							3					3
	A型肝炎							9				1	10
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							1		13	1	13	28
五類感染症	アメーバ赤痢									1	1	2	4
	ウイルス性肝炎											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2		4	1	3	10
	急性脳炎							2		1		1	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		5	7
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		2		5	9
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒							2		4		13	19
	破傷風									1		2	3
	百日咳											24	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	892	567	1,190
RSウイルス感染症								2	5	26	4	37	74
咽頭結膜熱		3 0.75	1 0.33				4 0.14	98	57	114	9	83	361
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3 0.75	1 0.33	17 2.13		2 0.20	23 0.79	125	184	1,196	173	1,348	3,026
感染性胃腸炎		14 3.50	14 4.67	10 1.25	3 0.75	12 1.20	53 1.83	947	542	674	272	1,883	4,318
水痘			1 0.33				1 0.03	29	32	70	18	96	245
手足口病								18	3	29	8	55	113
伝染性紅斑								9	26	32		163	230
突発性発しん		1 0.25		7 0.88	1 0.25	1 0.10	10 0.34	32	24	176	63	157	452
ヘルパンギーナ		2 0.50		1 0.13			3 0.10	65	2	19	3	8	97
流行性耳下腺炎					1 0.25	1 0.10	2 0.07		8	6	5	15	34
流行性角結膜炎								1	6	9	2		18
細菌性髄膜炎										1		1	2
無菌性髄膜炎								1			1	5	7
マイコプラズマ肺炎			1 1.00				1 0.20	2	11	25	16	9	63
クラミジア肺炎												1	1
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2	2		4
インフルエンザによる入院患者（*）													0

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年9月分）

		9月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症					5	5	1	2	17		44	64
						1.25	0.50						
	性器ヘルペスウイルス感染症		2			2	4		6	1	5	29	41
			2.00			0.50	0.40						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ					1	1			2		5	7
						0.25	0.10						
	淋菌感染症			2		1	3	1		6		11	18
				0.67		0.25	0.30						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	3	2	5	12	11	9	21	15	29	85
			2.00	3.00	2.00	5.00	2.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							2		7			9

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。